



# 武田 貴美子 Kimiko TAKEDA

職名	准教授
担当科目	フィジカルアセスメント、看護基礎理論、生活援助論Ⅰ、生活援助論Ⅱ、看護展開論、EBN 実習Ⅰ EBN 実習Ⅱ、看護総合実習、看護学研究
学歴	長野県看護大学大学院看護学研究科博士前期課程(修士課程) 修了 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程 修了
学位	博士(看護学)
主な職歴	厚生連篠ノ井総合病院 看護師 長野県看護大学 助手 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 助教・講師・准教授 佐久大学 准教授(現職)
研究分野／ Key word	看護技術、慢性期看護学、慢性腎不全看護
主要著書・ 学術論文	【著書】 1. 東風平智江美、田村正枝 監修 (2006) 疾患別看護ケアのための病態関連図. 医学芸術社. (第1章 呼吸器 慢性閉塞性肺疾患、第2章 循環器 心不全、第4章 内分泌・代謝 糖尿病 分担執筆) 【論文】 1. 武田貴美子、田村正枝、小林理恵子、志村ゆず (2004). 外来化学療法を受けながら生活しているがん患者のニーズ. 長野県看護大学紀要, 第6巻, 73-85. 2. 縄秀志、嶋澤順子、武田貴美子、安田貴恵子、宮内薫子、水野恵理子、花村由紀、御子柴裕子、北山秋雄 (2005). 胃切除術をうけた患者の在宅移行期における症状・生活状況に基づく看護ニーズの検討. 長野県看護大学紀要, 第7巻, 11-20. 3. 武田貴美子、縄秀志、青木君恵 (2010). 日常生活援助技術学習プログラムに対する学生の評価. 高崎健康福祉大学紀要, 第9号, 145-154. 4. 縄秀志、武田貴美子、青木君恵、吉田聡子 (2010) 高校生のための看護ケア体験プログラムの有用性. 高崎健康福祉大学紀要, 第9号, 135-144. 5. 青木君恵、縄秀志、武田貴美子、長岡沙紀子 (2013) 日常生活援助技術学習プログラムの教員指導方法の違いによる学生の学習内容の検討. 高崎健康福祉大学紀要, 第12号, P47-53.
所属学会	日本腎不全看護学会、日本看護技術学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本在宅ケア学会
主な社会 貢献活動	日本腎不全看護学会認定委員会委員 日本腎不全看護学会 CKD プロジェクト委員会委員
出前授業 テーマ	看護とは？／看護ケアのプロセス(方法)について／その人らしさを支える看護ケア
E-mail	k-takeda@saku.ac.jp

